

買い物場面でお金を出すことを通して、まとまりをつくるよさに気づく授業

第1学年2組 算数科学習指導案

指導者 屋城 千咲

1. 単元名 おおきいかず

2. 教材観

本単元は、小学校学習指導要領、第1学年の2内容A「数と計算」(1)に示された指導事項のうち、100までの数や100を少しこえる数の表し方、意味、数系列等を指導するために設定された単元である。子どもたちはこれまでに「かずとすうじ」、「いくつといくつ」で10までの数の概念、合成・分解を学習してきている。さらに、「10よりおおきいかず」で20までの数を10といくつというとらえ方で学んできている。絵と数図ブロックを対応させ、操作しながら数について視覚的に理解したり、学校にあるものを実際に数えたりし、身のまわりと学んだことを結びつけて学習を進めてきた。本単元では、20をこえて100を少しこえる数まで、数の範囲を拡張していく。そして、お金を教材として使い、お金の出し方を色々に考えることを通して100までの数の構成についての理解を深めることをねらいとする。

3. 指導観

実態調査では、ほとんどの児童が算数の授業を楽しんでいると感じていた。算数の授業で、どんなときが楽しいと感じているかについては、約70%の児童が自分の力で問題が解けたときや、発表をしているときに楽しいと感じている。また、約20%の児童が友達の考えを聞いている時や自分の考えを友達に分かってもらえた時に楽しいと感じている。児童たちは、意欲的に算数の授業に参加しているが、本単元を通して、より多くの児童が自分と同じ考えや異なる考えに気づいたり、自分の考えを友達に伝える楽しさを味わったりする経験をさせていきたい。相談タイムを通して、友達の考えを聞いて新たな考えに気づく喜びや相手に伝える楽しさを味わわせていきたい。

本単元では、100までの数や100を少しこえる数について、ものの個数や順番を正しく数え、その表し方と意味を理解することが重要である。たくさんものを数える際に、速く・簡単に・正確に数えられるようになると便利であるということに気づくことができるように、10のまとまりで考えるよさや、少ない枚数で出せるお金の出し方について半具体物やお金の模型を使って考えさせていきたい。本時の学習では、お菓子を教材として使い、簡単な買い物場面を設定する。買い物場面でお金の出し方を考えることを通して、数の合成・分解に習熟し、数の感覚を豊かにしていきたいと考える。近年、キャッシュレス化に伴い、小銭を出して買い物をする機会が減ってきているが、低学年の段階で、お金の種類の理解や、数の合成・分解について実際の買い物場面を想定して正しく理解させ、数の感覚を豊かにしていきたい。

4. 単元の目標

【知識及び技能】

100までの数や100を少しこえる数について、数字でかいたり数直線上に表したりするとともに、数の大小比較ができる。

【思考力・判断力・表現力等】

100までの数を「10がいくつと1がいくつ」、100を少しこえる数を「100といくつ」という見方でとらえることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

100までの数を10ずつまとめて数えるよさに気づき、身のまわりから進んで100までの数字を見つけようとする。

5. 本時の指導 (10/13)

(1) 目標 【思・判・表】

買い物場面でお金を出すことを通して、数の合成・分解をすることができる。

(2) 展開

学習過程 (時配)	学習活動と内容 ◎教師の発問・子どもの反応	○支援 ☆評価 (方法)	資料
見いだす 5分	1. 既習事項を確認する。 ・1円, 5円, 10円, 50円 ・この前は、〇〇をかったよ。 2. 本時の素材を提示する。 ・チョコレートは98えん ・かずがおおきくなったね。	○お金の模型を見て、いろいろな種類のお金があったことを確認する。 ○実際に買い物をする場面であることを想起させる。 ○チョコレートの写真を見せ、児童が買い物をしたいという意欲を高める。 ○今日は100円に近い値段のお菓子	お金の模型 (黒板用) 大型モニター お菓子の写真

<p>自分で取り組む 10分</p>	<p>3. 学習問題を確認する。</p> <p>かいものをするときは、どのようにおかねをだしたらよいか。</p> <p>4. 見通しをもとに、自分で解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 えんをつかいそう。 ・5 えんをつかいそう。 ・1 えんもつかえるよ。 <p>〈予想される考え〉</p> <p>① 10 えんが9まいと1 えんが8まい</p> <p>② 50 えんが1まいと10 えんが4まいと1 えんが8まい</p> <p>③ 50 えんが1まいと10 えんが4まいと5 えんが1まいと1 えんが3まい</p>	<p>を買うことに気づかせる。</p> <p>○児童の言葉から学習問題をつくる。</p> <p>○98 円のチョコレートのおかねの出し方を考えさせる。</p> <p>○お金の模型をタブレット上で操作し、数の構成を確認させる。</p> <p>○お金の操作ができれば、ノートに説明をかくよう声をかける。</p>	<p>お金の模型（黒板用） タブレット ノート</p>
<p>広げ深める 20分</p>	<p>5. 相談タイムでペアで自分の考えを説明しあう。</p> <p>6. 考えた方法を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな出し方があるね。 ・わたしも〇〇さんとおなじお金の出し方だったよ。 <p>◎お金を出すのにどれが一番大変かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①は枚数が多いから大変そう。 ・枚数を減らせば早くお金を出せるよ。 ・10 円玉が5枚で50 円だね。 ・1 円も5枚で5 円だよ。 ・まとまりを作ると①と②は③と同じになるね。 <p>8. 「じゃあ問題」を解く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・95 えんのクッキー <p>9. まとめをする。</p>	<p>○いろいろなお金の出し方があることに気づかせる。</p> <p>○3つの考えを全体で共有し、枚数が少ないお金の出し方はどれか考えさせる。</p> <p>○速くお金を出す方法を考えるためにお金の模型を操作し、お金のまとまりを考えさせる。</p> <p>☆【思・判・表】買い物場面で、お金の出し方を考えることを通して、数の合成・分解をすることができたか。（発言・ノート）</p>	<p>大型モニター お金の模型（黒板用）</p>
<p>まとめあげる 10分</p>	<p>かいものをするときは、おかねのまいすうをすくなくするとよい。</p> <p>10. 適用問題を解く。</p> <p>①78 えんのポテトチップス</p> <p>11. 算数日記を書く</p>	<p>○児童の言葉からまとめをつくる。</p> <p>○本時の学習を振り返り、お金の出し方や、数の構成についてわかったことや気づいたことをノートに書かせる。</p>	